

■中国：2基目のEPR、台山2号機が商業運転開始へ

中国広核集团有限公司（CGN）、フランス電力（EDF）、EDF 子会社フラマトムは2019年9月7日、台山発電所2号機が商業運転に入ったと発表した。台山1、2号機はフラマトムが設計した第3世代原子炉（EPR）で、2018年12月に台山1号機がEPRとして世界初の商業運転を達成したのに続き、今回2号機が世界で2番目の商業運転に入ったもの。2号機の建設は1号機の経験を活かし、燃料装荷から商業運転開始までの工期を3カ月短縮している。EPRは現在、フラマンビル3号機（フランス）、オルキルオト3号機（フィンランド）、ヒンクリーポイントC（英国）が建設中である。